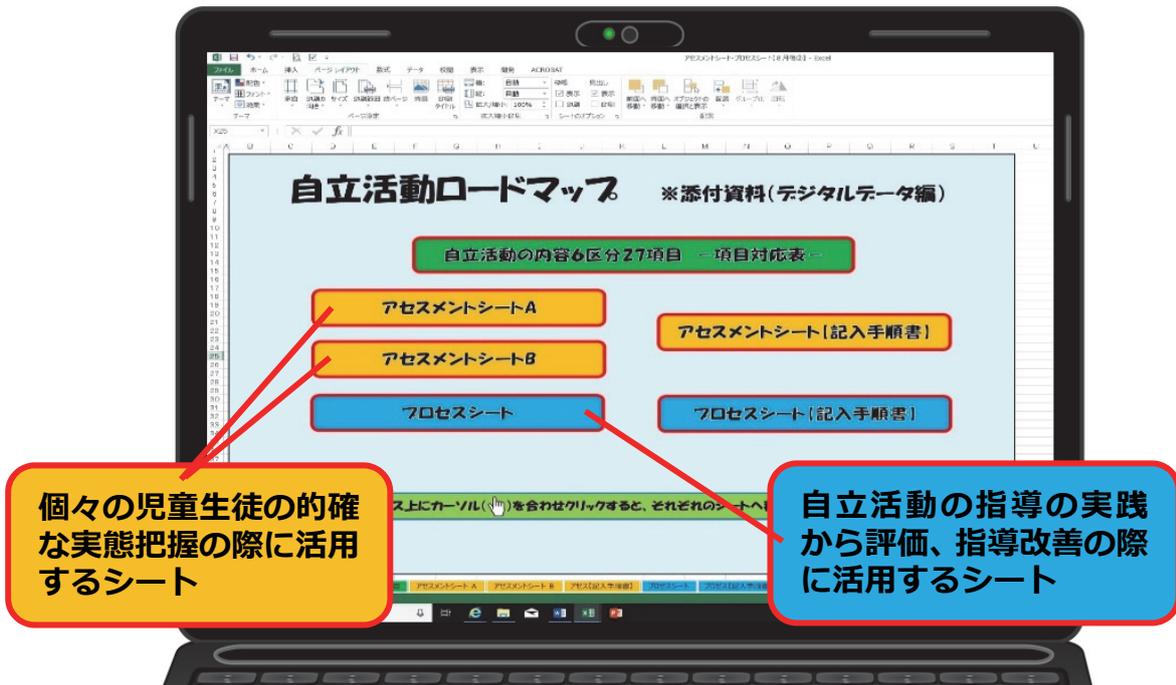


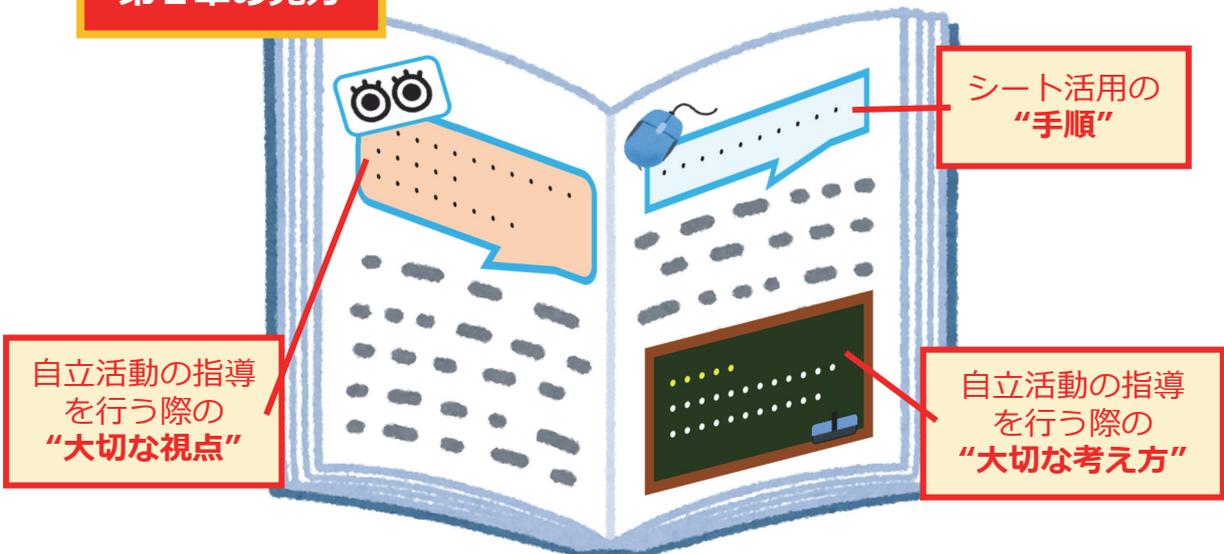
## 第2章 自立活動の指導に向けて

自立活動の指導は、個々の児童生徒の状態や特性及び心身の発達の段階に即して指導を行うことが基本です。そのため、的確な実態把握と個々の児童生徒に応じた自立活動の指導を実践するために、「アセスメントシート」と「プロセスシート」を活用します。これらのシートはパソコン上で記入することができます。

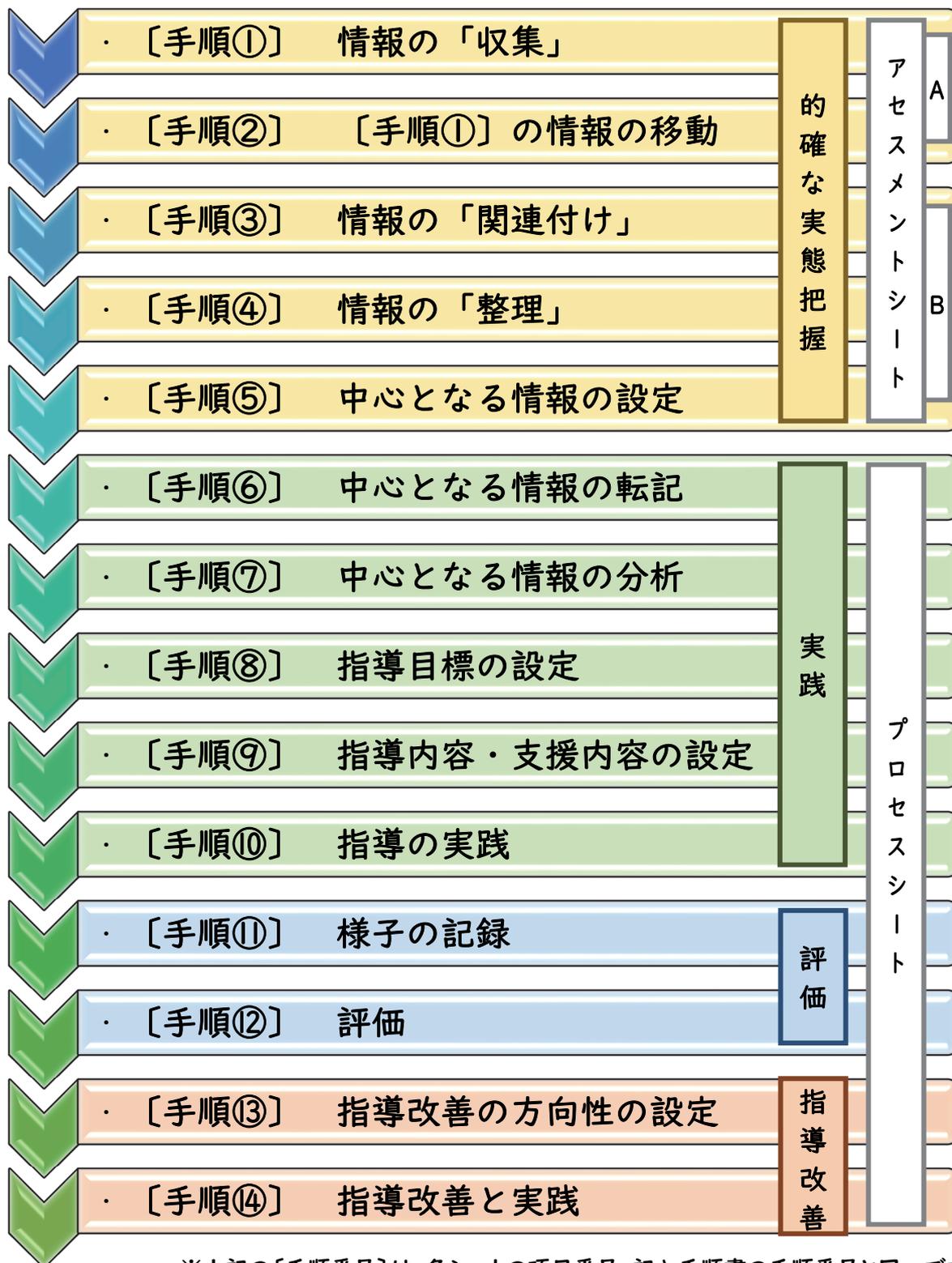


※各シートの様式や詳しい記入手順等は、資料を参照してください。

### 第2章の見方



(1) 実践の過程



※上記の〔手順番号〕は、各シートの項目番号・記入手順書の手順番号と同一です。

## (2) 的確な実態把握

### ・ [手順①] 情報の「収集」

■「アセスメントシートA」

※情報・・・個々の児童生徒が行動したり、活動したりしている具体的な姿や様子のこと

**アセスメントシートA** 【学部・学年・クラス】 \_\_\_\_\_ 【記入日】 \_\_\_\_\_  
【児童生徒名】 \_\_\_\_\_ 【記入者】 \_\_\_\_\_

基礎的情報(診断名等)

身体に常に力が入っており、緊張が強い。	普段から反りが強く、うれし いときなどの興奮した場面では、より強く反らす。	指導者同士の会話(特にうっ かりミス(話)をよく聞いて、 楽しんでいる。
ホカホカした表情で、 手を指さす。	イベントがあると知 ると、給食を食べよう と催促する。	自分から話しかけよう としたり、関わった 友達がいないと、不安 になる。
「OO先生だ!」と先生 の名前を呼ぶ。	クラスの友達全員に家から お土産を持ってきて、渡したこ とがある。	担任や友達が誰か を理解している。
牛乳パックを指では さみ、指導者と一緒 に破ることができる。	繰り返し取り組むことで、 様々な学習に対して意欲的 に参加することができる。	

できないことや困難なことだけではなく、**できることや得意なこと等の“強み”**に着目します。

問かけへの**意思表示**ができる。  
YES:眉毛が上がる、「はい」の口、  
目をぱちっと開ける、左手を挙げる。  
NO:表情をこぼばらせ、目をじっと見る、  
「アッ」という声を出す。

場面や状況、関わる人等も具体的に記入します。

### ・ [手順②] [手順①] の情報の移動

■「アセスメントシートA」

アセスメントシートA

情報の「収集」が終わったら、**完了** ボタンをクリックします。

次に、**アセスメントシートBへ進む** ボタンをクリックし、[手順③]へ進みます。

・ [手順③] 情報の「関連付け」

■「アセスメントシートB」

**アセスメントシートB** 【学部・学年・クラス】 \_\_\_\_\_ 【記入日】 \_\_\_\_\_  
 【児童生徒名】 \_\_\_\_\_ 【記入者】 \_\_\_\_\_

基礎的情報(診断名等)

身体に常に力が入っており、緊張が強い。  
 ボールの上においた手を動かしたり、離したりすることができる。  
 手指で筆やペンを保持し続けることができる。  
 どの具体的

普段から反りが強く、いときなどの興奮したは、より強く反らす。  
 牛乳パックを指ではさみ、指導者と一緒に破ることができる。  
 好きな物

行ったの?とはんを食べにことできることある)。

問いかけへの意思表示ができる。  
 YES:眉毛が上がる、「はい」の口、目をぱちっと開ける、左手を挙げる。  
 NO:表情をこわばらせ、目をじっと見る、「アッ」という声を出す。

「どっち?」「誰?」の問いかけに、目線で応えることができる。

自分の思いを分かってもらえないと、黙ってしまう。

質問に対して、発声で応えることができることが時々ある。

「手順②」で収集した情報同士を、**原因と結果の因果関係**や、**相互の関連性**に着目して結び付けます。

健康の保持 2 心理的な安定

・ [手順④] 情報の「整理」

■「アセスメントシートB」

**アセスメントシートB** 【学部・学年・クラス】 \_\_\_\_\_ 【記入日】 \_\_\_\_\_  
 【児童生徒名】 \_\_\_\_\_

基礎的情報(診断名等)

1 健康の保持 5 身体の動き  
 身体に常に力が入っており、緊張が強い。  
 5 身体の動き  
 ボールの上においた手を動かしたり、離したりすることができる。

4 環境の把握  
 健康の保持  
 普段から反りが強く、うれしいときなどの興奮した場面では、より強く反らす。  
 好きな指導者のいる方へ顔を向けることができる。

6 コミュニケーション  
 問いかけへの意思表示ができる。  
 YES:眉毛が上がる、「はい」の口、目をぱちっと開ける、左手を挙げる。  
 NO:表情をこわばらせ、目をじっと見る、「アッ」という声を出す。

6 コミュニケーション

2 心理的な安定  
 クラスの男性の指導者が好き。  
 人間関係の形成  
 一方的に触ったり、関わった  
 人間関係の形成  
 繰り返して取り組むことで、様々な学習に対して意欲的に参加することができる。

4 環境の把握 5 身体の動き 6 コミュニケーション

情報の内容を確認し、該当する自立活動の区分のラベルを貼ります。

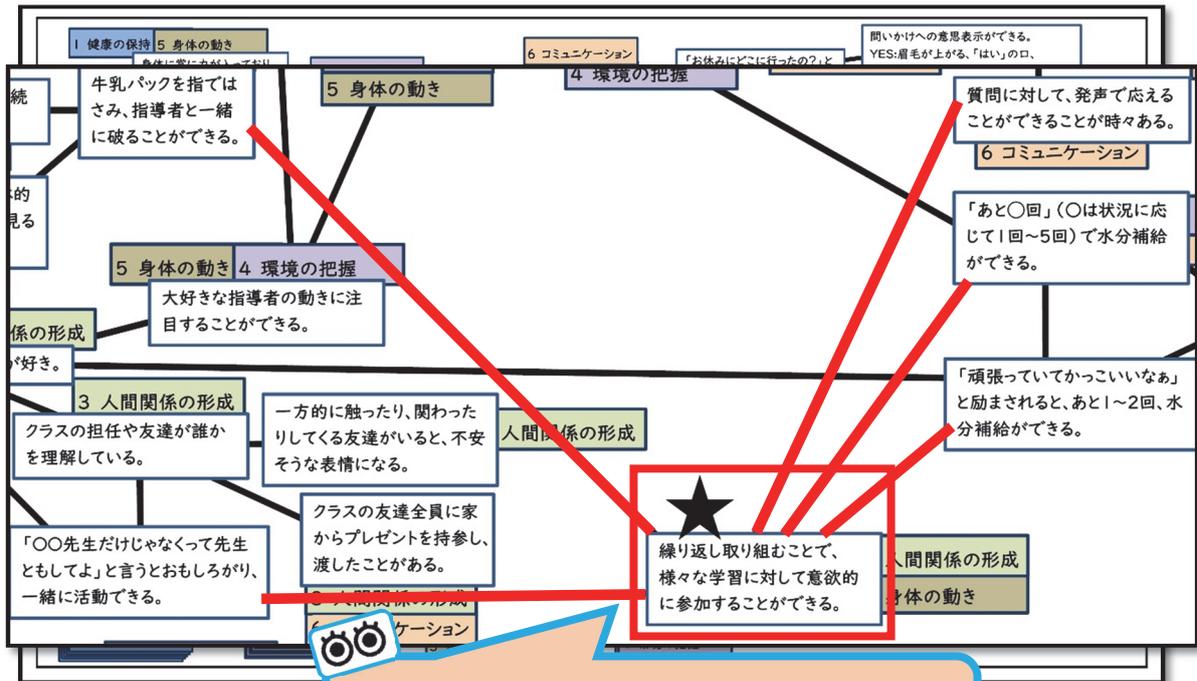
複数の区分に該当する情報の場合は、複数の区分のラベルを貼ります。

自立活動の区分のラベル

### (3) 中心となる情報の設定と分析

#### ・ [手順⑤] 中心となる情報の設定

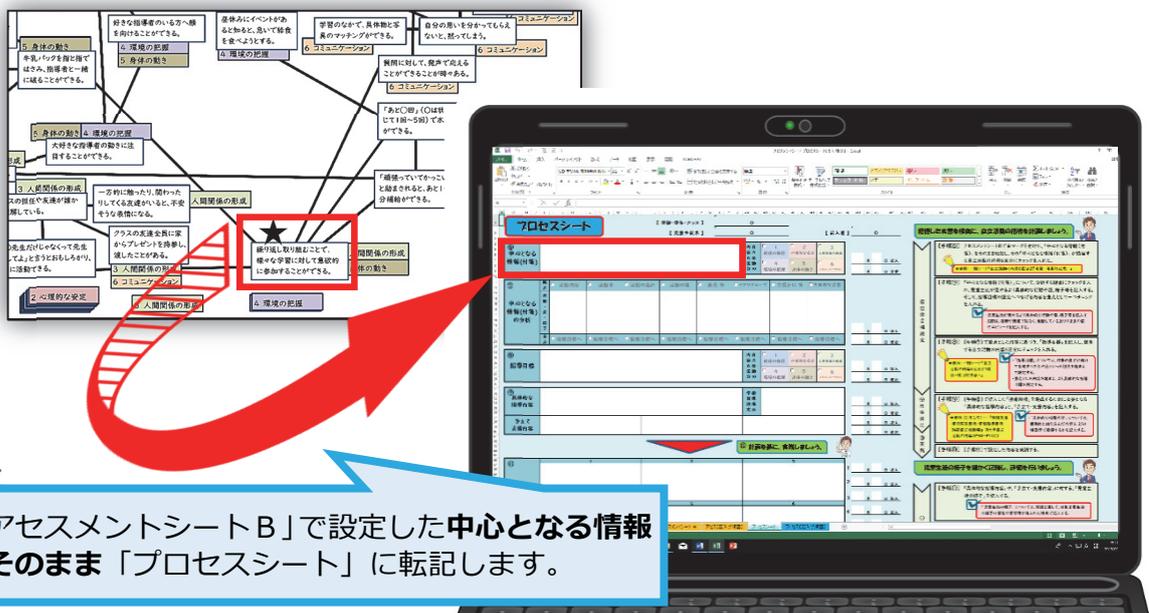
■「アセスメントシートB」



他の多くの情報と「関連付け」られた情報を、**中心となる情報**として★マークを付けます。

#### ・ [手順⑥] 中心となる情報の転記

■「プロセスシート」



「アセスメントシートB」で設定した**中心となる情報**をそのまま「プロセスシート」に転記します。

・ [手順⑦] 中心となる情報の分析

■「プロセスシート」

「自立活動の指導を構成する8観点」について

- \* 本研究における「自立活動の指導を構成する8観点」とは、指導すべき課題を多角的に分析するために設定した観点である。
- \* 8観点(活動内容・活動量・活動の流れ・活動の場・道具等・ペアやグループ・言葉かけ等・主体的な姿勢)
- \* この8観点については、指導に対する評価を行う際に、「自立活動の指導を評価する8観点」としても活用する。

中心となる情報の内容を確認し、該当する自立活動の区分をチェックします。

※[手順⑥]までのケースとは異なります。

持続することは難しいが、指導者からの「静かにしよう」の言葉かけを受け止め、意識することができる。	内容区分	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
--	------	---------	----------	-----------	---------	---------	-------------

⑦ 中心となる情報(付箋)の分析	観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容	<input type="checkbox"/> 活動量	<input type="checkbox"/> 活動の流れ	<input type="checkbox"/> 活動の場	<input type="checkbox"/> 道具等	<input checked="" type="checkbox"/> ペアやグループ	<input checked="" type="checkbox"/> 言葉かけ等	<input type="checkbox"/> 主体的な姿勢
	重点	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ

分析する観点をチェックします。

朝の会や机上学習、運動等などの学習であっても、同じ姿を見せることが多いが、気になる友達と別々の学習場面では、気持ちを落ち着けて、比較的静かに取り組むことができる。

気持ちが高ぶってしまってから言葉かけを行っても、気持ちを抑えることは難しい。「分かった。できる」と返事はするが、しゃべり続けてしまう。指導者が目線で合図をすると、それを受け止め、学習に気持ちを向けることができる場面もある。

中心となる情報を、「自立活動の指導を構成する8観点」に沿って、個々の児童生徒が見せる行動や姿、様子としてさらに具体的に分析します。



#### (4) 指導目標の設定

##### ・ [手順⑧] 指導目標の設定

■「プロセスシート」



「自立活動の指導を構成する8観点」に沿って分析した内容から、**指導すべき課題を一つに絞り込み**ます。

⑥ 中心となる 情報(付箋)	持続することは難しい。受け止め、意識することができる。							
⑦ 中心となる 情報(付箋) の分析	観点	<input checked="" type="checkbox"/> 活動内容	<input type="checkbox"/> 活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の流れ	<input checked="" type="checkbox"/> 活動の場	<input type="checkbox"/> 道具等	<input checked="" type="checkbox"/> ペアやグループ	<input checked="" type="checkbox"/> 言葉かけ等
	行動・姿勢・様子	話を聞く、待つ等の受け身的な状況では、集中することが難しい。工作や調理、プリント等の具体的な活動に取り組む際は、気持ちを向けて取り組むことができる。		活動の導入時やまとめなど、指導者の話を聞く時間が長くなる場面では、集中を継続することが難しい。	気になる友達二人の様子をよく見ており、学習中であっても、自分から話しかけてしまうことがある。		朝の会や机上学習、運動等などの学習であっても、同じ姿を見せることが多いが、気になる友達と別々の学習場面では、気持ちを落ち着けて、比較的静かに取り組むことができる。	気持ちが高ぶってしまってから言葉かけを行っても、気持ちを抑えることは難しい。「分かった。できる」と返事はするが、しゃべり続けてしまう。 <b>指導者が目線で合図をすると、それを受け止め、学習に気持ちを向けることができる場面もある。</b>
⑧ 指導目標	重点	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input type="checkbox"/> 指導目標へ	<input checked="" type="checkbox"/> 指導目標へ
	指導者が提示したことに対して、気持ちを向けて取り組むことができる。							

指導すべき課題一つをチェックします。

#### 指導目標を設定する際のポイント

- ① できないことや困難なことを改善することだけでなく、できることや得意なこと等の**“強み”**を伸ばしていく視点を大切にすること。
- ② 態度や姿勢等を示す抽象的な内容ではなく、達成可能な具体性を有する**“活動レベル”**の内容を設定すること。
- ③ 将来の自立と社会参加を見据え、**“自立活動の内容6区分27項目”**を意識し、区分や項目の内容を踏まえて設定すること。



ハンカチの少し高い部分をつまんで上に持ち上げていくと、ハンカチ全体が上がっていくように、自立活動の指導においても、子どもの強みに着目し、それを伸ばし、調和的な発達を促していくことが大切です。



(5) 指導内容・支援内容の設定

・ [手順⑨] 指導内容・支援内容の設定

■「プロセスシート」



〔手順⑧〕で設定した指導目標を基に、どの学習設定や場面であれば効果的に指導できるかを考え、**できるだけ限定**して設定します。

⑧ 指導目標	指導者が提示したことに対して、気持ちを向けて取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> 2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> 3 人間関係の形成
⑨ 具体的な指導内容	指導者からの働きかけを受け止め、学習予定の説明に気持ちを向ける。	<input type="checkbox"/> 4 環境の把握	<input type="checkbox"/> 5 身体の動き
手立て 支援内容	学習が始まる前に児童Aが頑張ることや約束事を明確に提示する。	学習に取り組むことができるように環境(座席位置、音・声・廊下等からの刺激)を整える。	言葉かけが入りにくいときは、背中をさすることや、深呼吸をすることを促す(フローチャートで提示する)。

**手立て支援内容**  
学習が始まる前に児童Aが頑張ることや約束事を明確に提示する。

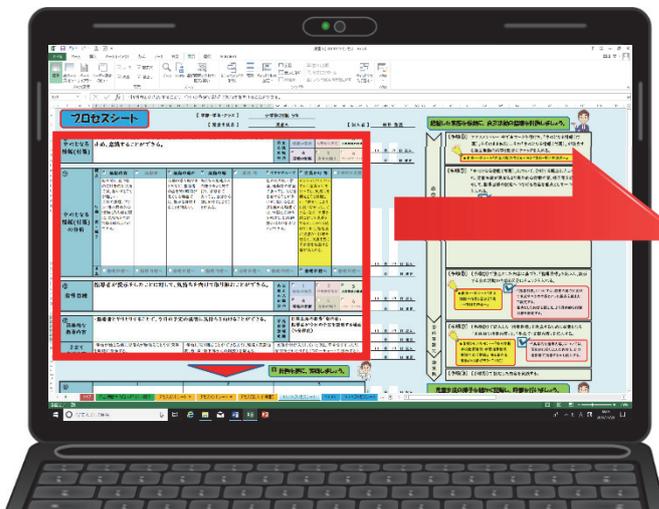
学習指導場面  
日常生活の指導「朝の会」  
指導者が学習の予定を説明する場面(5分程度)



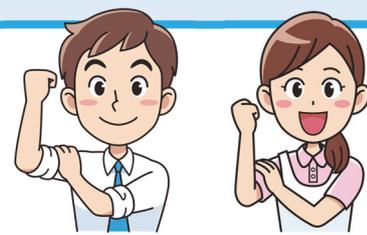
手立て・支援内容を設定する際は、個々の児童生徒の**“主体的な姿を引き出す”**視点を意識します。

・ [手順⑩] 指導の実践

■「プロセスシート」



「プロセスシート」を活用して設定した、個々の児童生徒に応じた自立活動の指導を実践します。



## (6) 評価と指導改善

### 〔手順⑪〕 様子の記録

■「プロセスシート」

⑪ 児童生徒の様子	週明けの月曜日であったこともあり、一日を通してテンションが高く、気持ちを抑えることが難しい姿が多く見られた。「朝の会」の場面においても、クラスの友達の言動が気になり、学習に集中できない様子が見られた。	昨日の学習「うた・リズム」で取り組んだ合奏(きらきら星)のメロディーについて、クラスの友達から「ドードーソーンでしょ!」と言われたことに反応し、「ドドドソソソ」と児童Aが楽しそうと思えるメロディーを繰り返し話し続ける姿が見られる。「朝の会」が始まってからも、気持ちを切り替えることができず、何度も同じメロディーを口にする姿が見られた。	保護者の学習見学の日であったため、一日を通してテンションが高い様子が見られた。「朝の会」が始まってからも、気持ちを切り替えが難しい姿が見られていたが、主指導者が学習予定の説明をする場面では、いつもと異なる活動や時間の変更等の新しい情報があったことから、自分から指導者の話を聞こうとする姿が見られた。
	4 スクールバスの遅れにより、クラスの友達が登校していないことが気になる様子であったが、「朝の会」が始まる時刻になると、自分から静かに着席する姿が見られた。学習に関係のない話をするこもあったが、今日も学習時間や場所等の変更があり、不規則な日課であったため、自分から話を聞こうとする姿が見られた。	5 お客さんが来室したことで驚いた様子が見られたが、比較的落ち着いて過ごす姿が見られた。クラスの気になる友達と目が合ったり、話しかけられたりした場面でも、自分から目	6



実践を通して見られた個々の児童生徒の**行動や姿、様子等**をできるだけ**具体的に**記録します。また、指導に関わる複数の指導者の視点から個々の児童生徒の姿を捉えることを意識します。

### 〔手順⑫〕 評価

■「プロセスシート」



〔手順⑪〕で記入した児童生徒の様子を基に、児童生徒の評価を行います。その際には、〔手順⑧〕〔手順⑨〕で設定した**指導目標**や**具体的な指導内容**に沿って評価を行います。

その日のクラスの状況や、児童A自身の状況等によるが、「朝の会」という限定された場面においては、**副指導者とやりとりすることで、主指導者の話に気持ちを向けることができた。児童A自身で気持ちを切り替えることはまだまだ難しいが、指導者とやりとりすることで気持ちを調整し、学習に取り組む場面が増えてきた。**

⑫ 児童生徒の評価	者とやりとりすることで、主指導者の話に気持ちを向けることができた。児童A自身で気持ちを切り替えることはまだまだ難しいが、指導者とやりとりすることで気持ちを調整し、学習に取り組む場面が増えてきた。	観点	<input type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/> 活動量の調整	<input type="checkbox"/> 活動の流れの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 活動場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫
	指導に対する評価	内容				主指導者児童Aに「うた・リズム」のメロディーを繰り返し話し続ける姿が見られる。児童Aは「朝の会」が始まってからも、気持ちを切り替えることができず、何度も同じメロディーを口にする姿が見られた。			指導者から背中をさすられたり、深呼吸を促されたことなどで、学習内容等に関する疑問を自らで解決しようとする姿や、自ら指導者に質問する姿が見られた。	



評価する観点にチェックを入れます。

〔手順⑪〕〔手順⑫〕で記入した児童生徒の様子や評価に基づき、指導に対する評価を行います。その際には実践した指導を振り返り、「**自立活動の指導を評価する8観点**」に沿って評価を行うことで、**指導の改善**へとつなげます。

・ [手順⑬] 指導改善の方向性の設定

■「プロセスシート」

観点	<input type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/> 活動量の調整	<input type="checkbox"/> 活動の流れの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 活動場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫
指導に対する評価				主指導者が児童Aに対して直接指導を行うと、クラスの児童全員が児童Aに注目してしまいがちであった。主指導者だけでなく、副指導者とのやりとりを中心とすることで、クラス全体から注目を浴びることが少なくなった。			指導者から背中をさすられたり、深呼吸を促されたりしたことによって、落ち着くことができたため、有効な手立てであった。 副指導者から、学習内容に関する質問を行うことで、児童Aから主指導者の説明を聞く姿勢を引き出すことができた。	行動を制止する言葉かけではなく、副指導者が児童Aに対して、学習内容に関する質問を行うことで、児童Aが自分で学習に気持ちを向けようとする姿勢や、自ら指導者に質問する姿を引き出すことができた。

記入する観点をチェックします。

⑬ 評価を基に、指導を改善しましょう。

観点	<input type="checkbox"/> 活動内容の選択	<input type="checkbox"/> 活動量の調整	<input type="checkbox"/> 活動の流れの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 活動場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫
⑬ 指導改善の方向性				クラスの全体指導の場面においては、主指導者から児童Aに対して直接的な指導を行うことはせず、副指導者が指導や支援を行うようにする。			今後も継続して、行動を制止するような言葉かけは行わず、学習内容に関する質問を行うなど、児童A自身が学習に気持ちを向けることができるような言葉かけを行う。	児童Aが自分で気持ちを調整できたり、学習に気持ちを向けてきた場面において、できたことを評価し、自信の獲得につなげていく。

<input checked="" type="checkbox"/> 活動場の設定	<input type="checkbox"/> 道具等の選択	<input type="checkbox"/> ペアやグループの設定	<input checked="" type="checkbox"/> 直接的な言葉かけの工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 主体的な姿勢を促す工夫
クラスの全体指導の場面においては、主指導者から児童Aに対して直接的な指導を行うことはせず、副指導者が指導や支援を行うようにする。			今後も継続して、行動を制止するような言葉かけは行わず、学習内容に関する質問を行うなど、児童A自身が学習に気持ちを向けることができるような言葉かけを行う。	児童Aが自分で気持ちを調整できたり、学習に気持ちを向けてきた場面において、できたことを評価し、自信の獲得につなげていく。

指導改善の方向性を設定する際のポイント

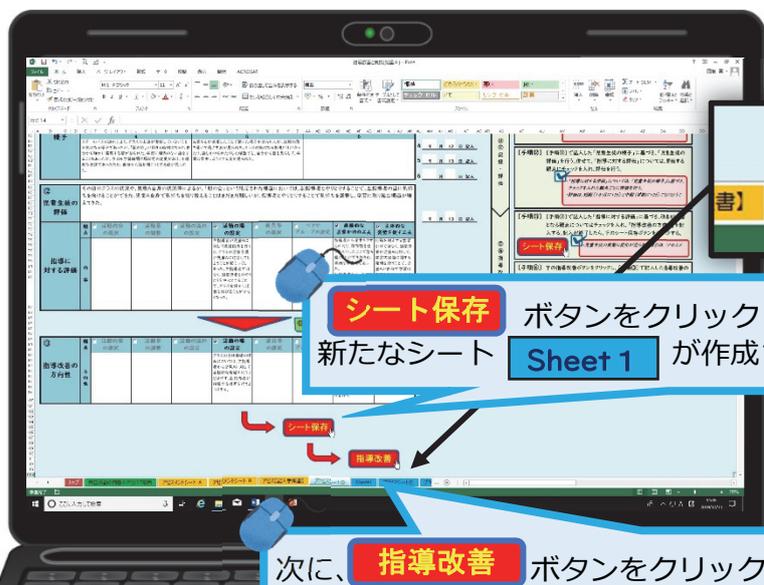
- ① 個々の児童生徒の“主体的な姿を引き出す”視点を意識すること
- ② 児童生徒の評価と指導に対する評価に基づき、観点別に設定すること
  - ・改善が必要な観点のみ設定する
  - ・指導改善の方向性で設定する観点が、評価した観点と異なる場合もある
- ③ 指導に関わる複数の指導者で協議を行い、指導改善を図る方向性を共有すること

↓  
個々の児童生徒の「持てる力を高める」視点が大切

一人ひとりの児童生徒の「持てる力を高める」視点を意識して、将来の自立と社会参加を目指し、より適切な指導へと改善していくことが大切ということですね。

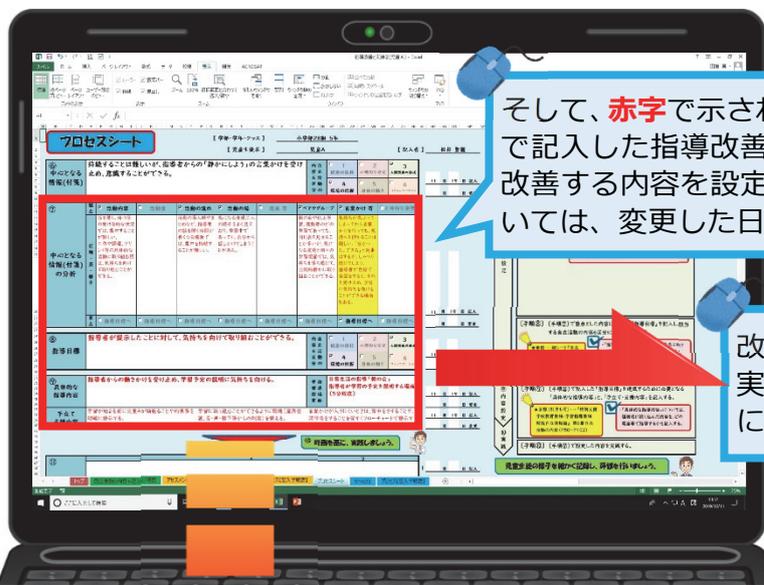
・〔手順⑭〕 指導改善と実践

■「プロセスシート」



**シート保存** ボタンをクリックし、今までの指導が記録された新たなシート **Sheet 1** が作成されたことを確認します。

次に、**指導改善** ボタンをクリックし、〔手順⑪〕児童生徒の記録、〔手順⑫〕児童生徒の評価・指導に対する評価、〔手順⑬〕指導改善の方向性、それらの記入日が消えていることを確認します。



そして、**赤字**で示された内容について、〔手順⑬〕で記入した指導改善の方向性を踏まえ、新たに改善する内容を設定します。改善する項目については、変更した日付を記入します。

改善を行った自立活動の指導を**実践**し、〔手順⑩〕～〔手順⑬〕に繰り返し取り組みます。



〔手順⑩〕～〔手順⑬〕を踏まえ、具体的な指導の改善が難しい場合は、〔手順①〕に戻り、個々の児童生徒の実態を捉え直すことで**実態把握を深化させ、再度自立活動の指導を設定**して実践を積み重ねます。